

# 湘紅会報 2021年6月 第6号

設立 1991年 会員 105名 年 2回発行

## 拡大世話人会 4月に開催

## 活動自粛 ワクチン接種一巡後まで 総会 10月目標



(鎌倉生涯学習センター-きらら会議室で)

去る4月6日、コロナ禍が続く湘紅会活動の今後方針を検討する拡大世話人会を開催しました。各部署の推薦メンバーを加え18名で協議結果、公式活動は会員ワクチン接種が一巡するまで自粛継続し、世話人会が再開を判断した時、各部署で具体化することとしました。又総会は10月開催を目標に、情勢を見ることとし、会員にメール通知しました。

**本年度世話人：**下記のように決まりました。

代表世話人・酒井尚平

世話人・青山勝（湘遊） 有地幸雄（万歩）

高橋邦雄（囲碁） 倉上雅彦（ゴルフ）

塩川明男（唄・新任） 宮田廣（酒悦）

相田康宏（事務局）

### 各部署の動向（拡大世話人会での発言要旨）

（酒悦会）4名で自粛中。再開待ちです。

（囲碁部）2名で、他の方々と毎週碁会開催。

（唄会）6名で会場借り、月一自己責任で開催。

（湘遊会）自粛中、美術展鑑賞から再開検討中。

（ゴルフ会）年4回、芙蓉CCで、有志会開催中。自粛解除後はすぐ湘紅会コンペに移行します。

（万歩会）昨年3月から活動停止中。会員には、毎月メールを配信、再開希望も寄せられますが、湘紅会の方針に従う方針です。

**（連絡先）** 会員ご質問、湘紅会各部署入会希望者は、事務局相田康宏宛てご連絡ください。

[yaita1947@nifty.com](mailto:yaita1947@nifty.com)

## 速報 会員ワクチン接種アンケート

5月末到着分

	接種済	6月予	7月予	申込中	計
鎌倉	5	5	0	1	11
逗葉以南	3	2	0	2	7
藤沢以西	3	4	0	2	9
横浜以東	3	7	1	5	16
計	14	18	1	10	43

### 本号内容

**会員随想：**杉山敏男 間々田安彌 雑賀邦行  
中川由紀子 高玉正明

**ギャラリー：**畑信興 **俳壇：**岡崎誠之助 原知廣

**新人紹介：**森道郎 渡邊義夫 中前寛

## 会員随想

### 広島カープと愛車

杉山敏男

私は高校まで広島市で育ったせいで、根っからの広島カープファンである。自分ではそれほど熱狂的なファンではないと思っているが、家内に言わせると、カープが負けた日は結構機嫌が悪いとのこと。さて、カープは御承知の通り、2016～2018年にセリーグ3連覇を

成し遂げたが、それは私が M 社の車を購入したお陰だとまわりに吹聴している。

2015年6月に9年間愛用した T 社の白い 2.5L セダンを売り、扁平率 45 の扁平タイヤを 4 本履いた M 社の 2L ハッチバック車を購入。私なりにカーブを側面から強力に支援するつもりで、色も思い切ってカーブのヘルメットカラーである「赤」を選んだ。



その年のカーブは、A クラス一步手前でシーズンを終えたものの、将来に大いなる期待を抱かせてくれた。

(写真：愛車と杉山さん)

そして 2016 年からあの快進撃が始まり、あっという間にセリーグ 3 連覇。しかし、2019 年から 2 年間は再び低迷期に入り、私の愛車の神通力も失せてしまったようだ。昨年 2 度目の車検を終え、次の車検まであと 1 年ちょっと。

目下の悩みは、カーブの優勝を改めて願いつつ M 社の新車に買い替えるか、乗り心地重視で他社のセダンにするか、はたまた神通力の蘇生を信じて、来年以降も今の愛車を使い続けるか。そんな私の思いも知らず、車の運転が好きな 71 歳のこの私に、もう年だしそろそろ免許証の返上を考えたらと、家内はしれっと言うのです。コロナ禍の昨今、電車の利用を極力避けて、買い物や外出に私という運転手付きの車を専ら利用しているくせに……。

**イエローストーン**

**間々田安**

**彌**

モンタナ側より入り、今はライフルを持ったガイドを先頭に 15 人の参加者が全員乗馬で、大草原を進んでい

る。遠方に、カルデラの外輪山と思われる山が望め、ちらほら見えるバッファロー、エルク、熊などの動物は近寄っては来ず、ライフルは、今のところ不要である。

これは、アメリカでは珍しく、男だけのホースライディングとフライフィッシングを目的とした観光旅行で、誘われ参加した。乗馬は、アルゼンチンで 2 回経験したが、今回は桁違いで、その一部を、お話しする。

ガイドはフライフィッシングをする川までは、3 時間ばかり、この草原をぬけ、しばらく登った後、谷までの急斜面を下ると説明。しばらくのんびりと進めていたが、丸石をひき詰めた川底が見えるかなりの急流を渡り、いきなりトロットを始めた。これは、馬のどれかの足が地に着いており馬の動きに合わせれば比較的快適である。ただ、次にギャロップに移った。これは、すべての足が宙に浮く、競馬と同じような走り方である。何しろ、アメリカ人は足が長く馬の胴の下まで届くので締め付けられるが、こちらは、ただでさえ短い足で十分に締められるわけもなく、体を浮き気味にしているので、段々前に傾き、馬の頭を飛び越えて落馬することが頭をよぎった。その上、鞍に尻が擦れひりひりと痛み出し、我慢できず、たずなを引いてしまった。その後は、出来るだけ鎧の上に立つようにして乗っていたが、これは疲れた。



宿舎に戻り、見ると、尻の皮が破れ下着が血だらけになっていた。治療はしてもらったが、翌日は、行き先

こそ違え、同じく乗馬で、同様の行程をこなしたが、鎧をうまく使い、尻を片方ずつあげ、擦れるのを防いだが、誠に難行苦行であった。(写真:モンタナ州資料より)

**戦後の横須賀**

**雑賀邦行**

大日本帝国海軍第一の鎮守府横須賀は他の呉、佐世保、舞鶴と共に先の大戦中爆撃は殆ど受けていません。共に良港である 4 港は、戦後の米国世界戦略の為大いに必要と考えられていたのでしょう。終戦時 50 万以上の人口は、小学 2 年の時、横須賀地誌を習ったときは 28 万人、全国で 16 番目でした。全国の市町村合併や横須賀からの大企業の撤退で現在は 40 万人を切っており、シャッター街が目立ちます。今は小学生頃良く遊んだ山々は削られ団地になり、丸紅も同じ町内に 265 軒の建売住宅を建設販売しました。今は窓から多くの住宅が見えますが、中学生の頃までは山際に 100 軒余りの兼業農家あるだけで、平地は殆どが田圃、低い山は畑。中学生のガキ大将に連れられ山でサクランボやグミを取り食べ、狭い神社で三角ベースソフト、缶蹴り、稲を刈った後の田圃で泥棒巡査？軍艦遊びで笛吹童子が始まる暗くなる頃まで遊んでいました。（写真：横須賀近殿神社祭礼で、3 歳頃の雑賀さん）



家の前に数メートルほどの幅、3メートルほどの深さの大川には鰻が遡上して、小さな穴に居る鰻を細い竹の先に餌を付け釣ったり、小川では田螺、鮎、田圃の間に流れる小川

を数メートルの長さで堰止め、ソーメンと呼んでいた鰻の子供や鮎を水抜き、獲ったりもしました。田圃がメインでしたので夏は灌漑用水用の堰というかため池で毎日のように泳いでいました。道路も砂利道で今横須賀市営墓地になっている場所には米軍の弾薬庫があり、そこまでの道は現在の横須賀ベースまでは大型トラックがすれ違うほどの広い道でした。その他は現在の国道 16 号、134 号と県道 26 号は砂利道でしたが、大型

自動車は擦れ違えました。そのほかの道は勿論砂利道でした。主要な道が舗装されたのは 1960 年頃でなかったかと思います。今は高速道路が通じ、実家の前の道も 4 車線の道になりました。羽田まで 40 分、成田まで 1 時間 40 分と大変便利にはなり、生活も格段に豊かになったと思います。しかし自分としては昔の自然に戻して欲しいのが偽らざる心情です。

### 定年後の夢 東海道五十三次 高玉正明

2015 年 3 月末で丸紅を定年退職し、次の就職まで、3 か月間を利用して東海道五十三次を歩くのが夢でした。

しかし、2015 年 3 月末に終わるはずの引継ぎが終わったのが 6 月 30 日で、翌日 7 月 1 日には新職場での仕事開始でした、つまり社会的には理想的な転職でした（笑）。

一方、転職後も東海道五十三次を走破する夢は膨らむばかりで 2017 年の春に週末を利用して日本橋から京都までの道を歩き始めました。友達に声を掛けましたが、誰も興味を持つ人はいないので、一人でスタートしました、でも、気軽に夢の道を歩くのは楽しい限りです。（写真中央：高玉さん）



◎日本橋⇒川崎⇒戸塚⇒国府津⇒小田原⇒箱根⇒三島⇒新富士⇒静岡⇒掛川⇒豊橋⇒浜松⇒名古屋と歩き続けております。

私の仕事の内容を簡単に言えば、今の会社が過去に海外案件で失敗した投資事業の後始末で、その失敗を隠密に始末する事です。

この為、出張が多く年間 15 万マイルを飛ぶ仕事で丸紅時代と同じで休日に休みを取れるチャンスは少なかったです。その少ない週末を利用して京都まで歩くのですが、4 年間で走破出来たのは全体の半分の日本橋から名古屋まで 360 km でした。その行程で最も苦しく思い出深かったのが、昨年 8 月 29 日の静岡⇒掛川の行程です、この日、横浜の自宅を 5 時に出発し新横浜駅 6 時の新幹線で静岡に向かい、6 : 40 に静岡駅を出発して掛川まで歩いた時でした。そして 13 時間歩いてやっと掛川のホテルに到着しましたが、当初の計画では静岡と掛川は 55 km の予定でしたが、最終的に歩いたのが 71,424 歩（約 62 km）でした。

この日は最高気温が 38 度もありラスト 10 km の岡部の宿場を通り過ぎた所で道に迷い、おまけに携帯電話の電池は切れるし、道には車は走っていないし、日は暮れるしで、水は切れるし、目の前も暗くなり、途方に暮れましたがボロボロでも掛川の宿に到着しました。京都の次の目標はスペインのサンチャゴ巡礼路の 800 km に挑戦する事です、東海道と違ってワインがゆっくり飲める 30 日が楽しみです。

## 2021 年、新型コロナ・コロナ !! 中川由紀子

湘紅会・万歩会に参加させていただいております。個人的には、2020 年 1 月の「鎌倉・七福神めぐり」を最後に家で、ひっそりとしております。

世話人の皆様には、開催中止のお知らせ等いつも予定のご連絡いただき、お手数・お骨折り ありがとうございます。私がコロナのことを耳にしたのが 2019 年末でした。中国・武漢のコロナ、日本では、クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス」たった一人の乗客の方からあのような大感染そして 緊急事態宣言・学校の休校・オリンピックの 1 年延期 と、大騒動となり 自粛・ホ

ームステイ の毎日。 どころなく、飽き飽きとした毎日です。

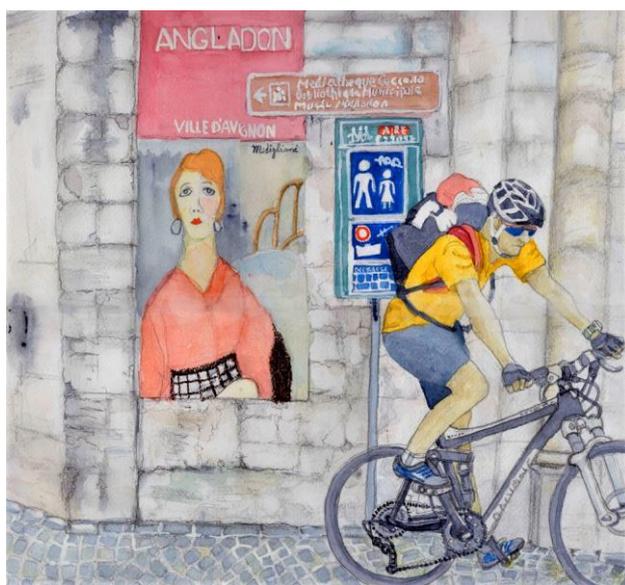
昨年 4 月に参加予定の「横浜港発・高知・鹿児島・濟州島・秋田・函館・横浜港着」クルーズが中止となり、再開がままならないまま年が明けてしまいました。

今年 2 月に夕日に向かって運転中、急に視界が真っ白になり何も見えなくなってしまいました。しばらく路上で視界回復まで休んでから、やっとのことで、帰宅できました。後日眼科を受診したところ、急性緑内障発作と診断され、失明しなくて良かったですねと言われてしまい、3 月 5 日と 20 日に白内障と合わせて、入院手術を受けました。目薬の毎日で、5 月 7 日からは、1 日に左右 2 回、4 回、6 回と 3 種類の点眼に追われております。8 月の免許証更新のため 3 月初めに、認知機能検査を申し込んだところ、予約できたのが、最速で 6 月 11 日でした。

あまりにまとまりのない文章を、お許しください。

この新型コロナウイルス、ワクチン接種・早期終息と万歩会が開催されるよう願っております。

## 湘紅ギャラリー



アヴィニョンの横道で (水彩) 畑 信興

## 新人紹介

森道郎さん 横浜市青葉区 74才



大阪本社、中近東研修生から自動車関連業務、欧州勤務長く、退職後に駐日外国大使館に勤務。入会后ゴルフ部に。

## 湘紅俳壇

令和三年初夏

子や孫の 集う御慶や オンライン

巢ごもりの 夜は熱燗 一人酒

窓に星 梅咲くを知る 夜風かな

原 知廣

東慶寺 偉人の墓も 冬ざるる

藪椿 残り少なく 尼の寺

岡崎誠之助

渡邊義夫さん 横浜市金沢区 73才

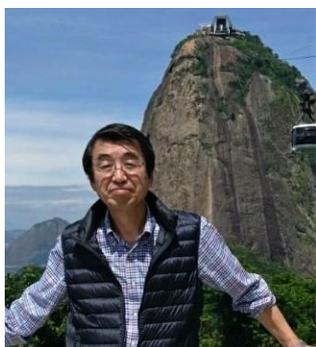


経理から建設機械業務へ。中東及び米国勤務が長い。退職後、比国関係の会社に勤務。入会後はゴルフ会・倶会に。トランペット演奏が趣味。

## あとがき

コロナ明けたら、友に会いたい、旅したい、劇場・美術館を楽しみたいと、辛抱しています。六七十年代の方々、退職後の夢計画が頓挫、再開を心待ちしていることでしょう。ワクチン接種が一巡して万歩会、湘遊会で、散策、野毛の落語など、秋には少しずつ、元に戻りたいですね。

中前寛さん 横浜市戸塚区 72才



浪速っ子、木材部門で、東南アジア駐在経験、退職後、海外事業会社に勤務。ゴルフ会入会。ウォーキング月200km目標、現在100km超。

「湘紅ギャラリー」を設けました。絵、書、手工芸、彫物、何でもお寄せください。大歓迎です。雑賀さんの「戦後の横須賀」に続き湘南の地域語りを載せたいと思います。ご協力をお願いします。

人生なんの因果か、戦争、天災、大不況、そしてパンデミック、忘れた頃にやってきます。心身の健康を守り、明日を信じて暮らしましょう。

1頁のワクチン集計から7月末に会員の多くは接種終わるようです。ご自愛ください。

